

しょうがいしゃ

ちいき せいかつ しょうほうし



「障害者」の地域生活情報誌

Vol. 29

ぶるーむ.com

2015.11

あきごう
秋号

じぶん せいかつたの
～ 自分の生活楽しんでますか？ ～

しょくよくすす
食欲進んでますか？



CONTENTS

P2 公共交通機関交渉

P4 意のまま気ままな独り言

P6 Oh-Life!! 第12回

P8 ぶるーむ活動報告

P9 介助者募集!!

◆「ぶるーむ」の由来◆

英語のbloomをひらがな表記したものです。bloomには、「(花が)咲く」「(才能・事業などが)花開く」などの意味があります。この北九州の地で、自立生活の土壌をあらためておこすことから始め、それぞれの自立生活の種を植え、色とりどりの自立生活の花が咲きほこるという願いをこめました。

7月6日、JR九州・朽網駅の早朝夜間無人駅化についての2回目の話し合いを
ぶる一むの事務所で行いました。今回はJR九州本社の担当者にも来ていただきま
した。

1時間以上突っ込んだ話をしましたが、結論としては、再度駅員は配置出来ない、
運転士や車掌がスロープを設置することは定時運行を守るため不可能、ホームに誰
でも使えるスロープを置くことも安全上出来ない、つまり合理的配慮は何も出来な
い。よって常時駅員がいる隣の駅を利用して下さいとの、こちらからするとゼロ
回答としか思えない回答が返ってきました。

しかし、定時運行への支障も、その可能性があるとこのくらいの話ですし、現場の
ことを知り尽くしているJR九州の方から代替策を出して欲しいと言ってもこれ
以上考えられないと言うし、本当に厳しい回答でした。

もう一度会社に持ち帰ることも出来ないという姿勢でしたが、近々、国土交通大臣
の差別解消法に関する対応指針が出るので、これが出たら改めて対応指針に基づい
て話し合うという着地点をなんとか見出だして、2回目の話し合いは終わりました。

対応指針とは、管轄する事業者が差別解消法のもとで適切に対応できるようにす
るため、各閣僚大臣が定めるもので、現在（執筆時、9月下旬）各省の対応指針案に
ついてパブリックコメント（意見を公募すること）が実施されています。

差別解消法上、合理的配慮の提供は事業者等にとって「過重な負担」になる場合は
これを提供しなくてもよいことになっています。

しかし、事業者等は安易に「過重な負担」に逃げることなく、これを主張するにしても、その主張は主観的であってはならず、客観的な事実によって裏付けられ、第三者の立場から見ても納得を得られるようなものでなければなりません。

このような考えが各省の対応指針に盛り込まれるように現在（執筆時、9月下旬）ぶる一むをはじめ全国の自立生活センターがパブリックコメントに意見を提出しています。

なお、朽網駅は北九州空港の玄関駅でもあります。深夜便も多く離着陸する空港と連結する駅が、早朝夜間に無人で本当にいいのでしょうか。これは障害者だけの問題ではありません。この視点で、市の担当部署にも働きかけてみたいと考えています。

電車に乗れるようになって私の世界は格段に広がりました。公共交通を担う事業者には、個人の人生に関わっている仕事との認識を強く持って事業にあたってほしいと伝えました。

引き続き粘り強く話し合いを続けていこうと思います。



意のまま気ままな独り言

みな いろいろ つか たかその はや しょうがいしゃ
皆さん、色々なことにいつもお疲れ様です。高園です。早いもので、障害者として
あゆ ねん むか ちいせいかつ ねん ねんすう かんけい
の歩みも10年を迎え、地域生活も4年となりました。まあでも、年数はあまり関係な
ないよう いみ なに な な
いですかね。内容があれば意味がありますけど、何も無ければ無いわけで。あっても、
ちいせいかつ つつ しょうがいしゃうんどう おも
地域生活を続けるっていうのは、それだけで障害者運動になるとは思っています。

しょうがいしゃうんどう し ひと きょうみ な ちいせいかつ なに しょうがいしゃ
そりゃ、障害者運動を知らない人や興味が無い人からしたら、地域生活の何が障害者
うんどう おも ひと しょうがいしゃ すご
運動なの？って思う人もいるだろうし、「障害者なのに凄いね！えらいね！」としか思
われない人だらけかもしれないです。でも、だとしたら、自分らのやっていること（やろ
うとしていこと）はまだまだ周知も含めて足りないことだらけで、やりがいしかない
です。

ちいせいかつ なに うんどう ごかい ほ せいど
ということで、地域生活の何が運動なのかです。誤解しないで欲しいのは、ただ制度
く ちいせいかつ いみ い うん
を食いつぶすような地域生活に意味があるとは言っていません。運がよかっただけとで
もいいますか。

むかし ふじゅうぶん せいど なか いま まんぞく かいじょじかん え
その昔、不十分な制度の中（今でもですけど）、満足に介助時間が得られなくても、
しょうがいしゃ せんばいたち おやもと しせつ びょういん で せいかつ りゆう せつめい
障害者の先輩達は親元や施設・病院を出て、生活をしようとしてました。理由は説明い
らないと思いますが、自由を求めてです。でも、障害者である以上どうあがいても介助
おち おも じゆう もと しょうがいしゃ いじょう かいじょ
がいりますよね。だけど、介助をする者にお金を払う仕組みも無い時代ですから、ボラ
ンティアを探すか、通行人に頼むか、人がいないか、そんな人の気持ちに頼るところが
おお ぶんてい せいかつ じゅうど しょうがい しょうち こわ
大きい不安定な生活だったわけです。だから、重度な障害であればあるほど、処置を怖
がられるなどして、人は集まりづらいということもあったそうです。（あれっそんなに今
か
と変わりませんか？）

じゆう え あきら せいど かいかく きも たよ
それでも自由を得るために諦めることなく、制度の改革を求め、気持ちに頼らない
せいかつ もと かいじょしゃ こよう かくほ しく もと みるしゅう りかい いのち せいかつ
生活を求め、介助者の雇用や確保の仕組みを求め、民衆の理解を求め、命がけで生活し
てきたわけです。

「こうやって生活したいからこうしてほしい」なんて夢物語で訴えるのではなく、
「こうやって生活しているんだからこれが必要なんだ」と生きながらに訴える。そう
やって実践による運動を積み重ねてきたわけです。かっこいいですね。

自分だったら、そこまでできたとは到底思えません。でも、確かに先輩達はそうやっ
て現在を作ってくれました。これは、しっかりと歴史に残っています。そして、大事な
のはこれから先の未来です。決して忘れてならないことは、現在も多くの障害者が地域
で当たり前暮らしに暮らせない事実があることです。そのことを考えると、まだまだ障害者の
歴史は作られている途中なんだと思います。今ある制度をいたずらに使うのではなく、
責任を持ち地域生活を実践し、運動を上げていかなければならないんだと思います。だ
って、何年後か、何十年後かに振り返ったとき、先輩が作りあげたものが使えなくなっ
ていたなんて笑えないでしょ？だから、(意味のある)地域生活を続けることはそれだ
けで運動なんだと思います。

と、えらそうに書いてきましたけど自分も運がよかっただけの分類です。

だから、「あなたも歴史を作っている一部だ」なんて言われても、言葉の意味がさっ
ぱりでした。でも、自分の現在の運動が、遠い(近い)未来の障害者運動の終わりに、
その一部として歴史に残るんだと。それは、障害者であるがゆえの使命なんだと。今
はそう思っています。心強い仲間がぶる一むにはいますしね。

と、長くなりましたのでこの辺で。でわ、また機会がありましたら。

Oh-Life

第12回 ライブは戦争！？ 前編

今さら説明する必要も無いのだが、僕はオタクである。今回は好きなアニソン歌手のライブに参加するために、とあるライブハウスに行く算段をしていた。今までも、アニソンのライブに参加したことは何度かあるのだが、今回は障害者席など全くバリアフリーのない会場でのライブであった。

まず、ライブの主催側に電話で車いすでも参加できるかを確認することから始める。正直、断られる可能性の方が高いと思っていたが、結果は、2階で見るのであれば参加可能とのことだった。ライブに参加する以上会場の雰囲気を感じることも大切で、一般客と同じ場所で見れなかったことは少し残念だったが、とりあえず参加できればという思いが強かったのでそこまで不満はなかった。

ライブの当日、僕は他のお客が全員入ってから最後に2階の席に移動する手筈で、会場から溢れそうな一般客を押しつけながら2階席に移動した。2階に上がって下の階を見てみると、会場には車いすどころか人の歩く空間もないほど人が詰まっていた。まさに「すし詰め状態」とはこういう時に使う言葉なのだろう。この中に車いすで入り込むのは流石に不可能だろうと悟った。

肝心の二階の席からの眺めはなかなか良かった。ライブで二階の障害者でも入れる席という、ステージから離れたとても見にくい場所というイメージがあるが、今回はライブハウスだったので一番後ろの2階席でもとてもよく見えるのである。正直、今までに見たライブのどれよりも快適な環境だったのではないだろうか。

ただ、微妙に残念だったことが一つある。今回、僕がいた2階席は関係者席も兼ねていたようで、いかにも業界の人オーラを放った関係者が何人か僕の周りにも座っていた。あくまで一般客として参加している僕は、その雰囲気に吞まれてあまり盛り上がることができなかった。

だが、貴重な光景をみる事ができた。ライブ終了後、その関係者にいかにもアイドルやタレントの卵みたいな女の子たちが、「〇〇です♪よろしくお願ひしまあす！！」と名刺を配っていた。微妙に露出度の高い服が印象深い。こんな光景はこの席でしか見ることでできなかつたらう。思いがけず業界の裏側と露出度の高い服（横の無いワンピース？）を見た僕は、妙にテンションが高いまま家への帰路に就いた。

それから1年、去年のライブで完全に味を占めた僕は、もう一度そのライブハウスであるライブに参加することにした。とりあえずまた去年と同じように主催者に確認をとつたのだが、結果は去年と同じではなかつた。

主催者側の回答は「参加は可能ですが、1階席の一番後での参加となります」というものだった。去年のライブで、1階席のヤバさ加減はよく理解していた。去年は2階席で参加したということは、主催者側に伝えたのだが、「防災上の都合で・・・」という回答が返ってくるだけだった。この時点で諦めても良かったのだが、一般席で参加するというに興味もあつたので、今回の参加を決断した。ここから先は地獄だとも思わずに・・・。

ライブ当日、僕は会場の一番後ろあたりに案内されていた。主催者側のスタッフもさすがに悪いと思つたのか、後ろの方でも少し段差で高くなつてゐる場所に案内してくれた。このライブにおける僕の視界環境を考えれば、雀の涙程度の配慮でしか無いが、その気持ちがとても嬉しかった。

僕が少し感動に浸つてゐる間にも、一般客がどんどん会場を埋めていき、全員入場した頃には、僕の視界も完全に埋まつてゐた。この状況になるまでは、頑張つてノビれば少しくらいは見えるだろうという無根拠な見込みがあつた。しかし現実には、ノビなければ前の人たちの上半身しか見え、ノビてもステージの照明しか見えないという惨状だった。もう完全に詰みである。自分の見込みの甘さとこの状況に愕然とする僕だが、そんな僕を尻目に無情にもライブの幕は上がったのであつた。

次回に続く・・・。

かつどう ほうこく
活動報告

へいせい ねん がつ へいせい ねん がつ
平成27年5月~平成27年7月

がつ
5月



ふくおかとくべつしえんがっこうでまえじゆぎょう
福岡特別支援学校出前授業①

ふじ はな み
藤の花を観にゆきたい
ちょうき こうざ
長期ILP講座①

よろず!!-56-
ちょうき こうざ
長期ILP講座②

さべつかいしょうほうれんらくきょうぎかい
差別解消法連絡協議会
キネマン

JRカスタマーサポート研修①
ふくおかとくべつしえんがっこう
福岡特別支援学校②

ちょうき こうざ
長期ILP講座③
けんしゅう かいじょぎじゆつ がいしゆつへん
ヘルパー研修④B「介助技術~外出編」

りじかい
理事会
ちょうき こうざ
長期ILP講座④

がつ
7月



JRカスタマーサポート研修④

ちょうき こうざ
長期ILP講座⑨

けんせついけんこうかんかい
スタジアム建設意見交換会

ちょうき こうざ
長期ILP講座⑩

けんしゅう
ヘルパー研修⑥B
さべつかいしょうほう
「差別解消法・ピアカン・ILP」

がつ
6月



えばあカフェ
JRカスタマーサポート研修②

しょうがいしゃだんだいれんらくかいそうかい
障害者団体連絡会総会
ちょうき こうざ
長期ILP講座⑤

にしにほんこうぎょうだいがくでまえじぎょう
西日本工業大学出前事業
レシートキャンペーン

ちょうき こうざ
長期ILP講座⑥
JRカスタマーサポート研修③

よろず!!-57-
ちょうき こうざ
長期ILP講座⑦

けんしゅう
ヘルパー研修⑤A
さべつかいしょうほう
「差別解消法・ピアカン・ILP」

キネマン
そうかい みやぎ
JIL総会in宮城

ちょうき こうざ
長期ILP講座⑧

もじけんしゅう
JR門司研修①

介助者緊急募集

【時給】
1,200円～

資格は要りません
男性・女性問わず
募集中です！

異性介助は
ありません

当たり前を
地域で実現！

障害者は健常者に
勇気を与えるために
生きているんじゃない

誰にでもできる
簡単な仕事です！

【勤務時間】

- ①10:30～16:00
- ②16:00～23:00
- ③23:00～翌10:30

※泊まりの場合、
③では13,800円

介助がなければ
お風呂に入ることも
トイレをすることも
食事もできません

介助の内容は、障害者
だからといって特別な
生活ではありません

週1回可能！電話お待ちしております

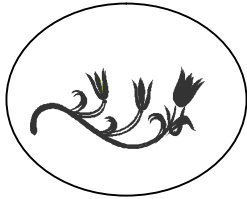
NPO法人 自立生活センターぶるーむ

北九州市小倉北区堅町2-1-5 TEL093-562-5431

へん しゅう こう き
編集後記

僕は今年で 27歳になるんですが、サンマに大根おろしが合うということ最近初めて実感しました。年齢を重ねると、本当に味覚も変わるものなんですね。 【K II】

■ **ロゴについて** ■



この3つが繋がったチューリップには、3J = 「自己選択」「自己決定」「自己責任」の意味と、この北九州の地で自分らしい、いきいきとした花を咲き誇らせてほしい・・・という願いがこめられています。

■ **会員募集** ■

自立生活センターの最大の特徴は、運営や各種サービスを「障害者」自らが中心となって行っていることです。これは、「障害者」にとって何が重要かということが一番知っているのは「障害者」自身であると考えるからです。

「自立生活センターぶるーむ」はこの考えのもと、2007年10月に産声をあげました。当団体の活動は、皆さまからのご寄付と会費により支えられています。

ご支援とご協力をお願い致します。

会員種別	年会費
正会員 当法人の目的に賛同し、法人の活動に責任を持って参加していただける個人の方。	3,000円
賛助会員 当法人の事業を資金面などで賛助していただける個人及び団体の方。	5,000円

【銀行振込】 銀行名：西日本シティ銀行 室町支店
 口座名義：特定非営利活動法人 自立生活センターぶるーむ 理事 田中雄平
 口座番号：1694039

編集人 連絡先 NPO法人 自立生活センターぶるーむ
 〒803-0818
 福岡県北九州市小倉北区豎町2-1-5 豎町ビル1F
 TEL 093-562-5431
 FAX 093-583-3257
 E-Mail cil-bloom@nifty.com
 URL <http://homepage3.nifty.com/cil-bloom/>
 定価 100円